

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005001	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2J1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2J1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、教育、福祉、観光、科学など、あらゆる分野の直面する問題について理解を深め、各問題に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(10回×2点=20点) + writing・speaking(15回×1点=15点) + 定期試験(45点) + e-learning教材学習テスト(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	future		
教科書・教材・参考書/Materials	The Future We Face (三修社) 1,900円 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8)	(対面) Introduction
第2回 (4/15)	(対面) Unit 1 Building from Above
第3回 (4/22)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Food Loss
第4回 (5/13)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Identifying False Information
第5回 (5/20)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Water Footprint
第6回 (5/27)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 5 Data in Sports
第7回 (6/3)	(対面) Unit 5 内容理解確認小テスト Unit 6 Community Kitchens
第8回 (6/10)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Studying Abroad
第9回 (6/17)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Enough Sleep
第10回 (6/24)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Drones to the Rescue
第11回 (7/1)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Country Mouse or City Mouse?
第12回 (7/8)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 11 Digital vs. Paper
第13回 (7/16)	(オンライン・オンデマンド) Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Where Does Nuclear Waste Go?
第14回 (7/22)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Farms without Fields
第15回 (7/29)	(対面) Unit 14 School Starting Age 総復習

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005002	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2J2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2J2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020▲yahoo.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	辞書無しでも英文が読めるようになる。 英文の要点が解るようになる。 英文の内容を推測できるようになる。 色々な地域で使われる英語の聞き取りができるようになる。 リスニング教材の要点が解るようになる。 リスニング教材の内容を推測できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 60% 学期中に2回行う小テスト20% Power Words Hybrid 単語テスト 20%(1回目 10% + 2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自主学習(合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード/Keywords	TOEIC 470~		
教科書・教材・参考書/Materials	The TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談ください。 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction プリントを使用した学習は毎回行う。
第2回	Unit 1 予定 動詞・五文型
第3回	Unit 2 数量を尋ね名詞名詞
第4回	Unit 3 命令・依頼 形容詞・副詞
第5回	Unit 4 広告・宣伝
第6回	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第7回	Unit 5 時間を尋ねる 動名詞
第8回	Unit 6 場所を尋ねる to 不定詞
第9回	Unit 7 確認 分詞
第10回	Unit 8 留守電
第11回	Unit 9 アドバイス 受動態
第12回	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第13回	Unit 10 誘い 比較
第14回	Unit 11 申し出 関係詞
第15回	Unit 12 講演者紹介 まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005003	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2J3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami▲kwassui.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックなテキストの理解力を向上させることです。効果的に理解のためのスキルの体得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点を得ることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな教材に触れ、読む・聞くことから視点を理解し、書く・話すことにより自分の考えを表明できるようになる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト (30%) 期末テスト (30%) Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%) 授業貢献 (20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・Power Words Hybridを用いた単語の習熟(自主勉強、30時間) ・予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リスニング・ストラテジー、リーディング・ストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考(クリティカル・シンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	可能ならパソコンかタブレットを持参してください。特に、小テスト、期末テストでは持参するのが望ましいです。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式を予定しています。しかし、状況により変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験からビジネスで使える英語についても解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1: In the Presence of Animals
第3回	Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 2: Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Chapter 1 quiz Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading 1: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading 1: Young Football Players injured but not forgotten
第6回	Power Words Hybrid 単語テスト（1回目）
第7回	Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading 1: An Unbreakable Code
第8回	Topic sentence in Introduction Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading 2: Languages Die Out, Taking History Along
第9回	Chapter 3 quiz Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading 1: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第10回	Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance: Reading 2: Fourteen Years Later
第11回	Chapter 5 quiz Social Justice: Reasons Why We Speak English: Peace Talk of Atomic Bomb Survivors
第12回	Power Words Hybrid 単語テスト（2回目） Social Justice: Reasons Why We Speak English: Testimonies of Atomic Bomb Survivors
第13回	Chapter 9:Economics: Batering in the 21st Century; Reading 1: Swap Tree-Simple, Easy Online Trading
第14回	Chapter 9:Economics: Batering in the 21st Century; Grameen Bank
第15回	振り返りとまとめ
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005004	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2 T 5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu▲yahoo.co.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。 (2) 話すことと聴くことの技能を身に着ける。 (3) ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。 (4) 語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。 (5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。 (6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。 (7) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (8) 練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (9) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。 (10) 海外の大学生活における英語表現を通して、ダイアログの背景や、スコットランドとアメリカ合衆国の文化に対する理解を深めることができる。 (11) 各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	(1) 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができるようになる。 (2) 語彙力を増強することができるようになる。 (3) 英語の構文・文法・表現について理解を深めることができるようになる。 (4) 美しい発音ができ、リスニングの能力を養うことができるようになる。 (5) 表現を声に出して述べるができるようになる。 (6) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (7) 適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (8) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養うことができるようになる。 (9) 日常会話を通して、ダイアログの背景や、英語圏の文化に対する理解を深めることができるようになる。 (10) 各自の現在の能力をさらに向上させることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験（50%）＋ Power Words Hybrid 単語テスト（20% 10% ＋ 10%）＋ 小テスト（15%）＋ 積極的な授業への取り組み（15%）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業時間（15時間）、事前学修時間（15時間）、事後時間（15時間）の、合計45時間の学修を必要とします。 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、自宅で音声教材を聴きDVDを見て、テキストの問題を解いて授業に臨むこと。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テストで確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・予習： 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（2時間/回） ・復習： 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（2時間/回） Power Words Hybrid 単語テストの自学自習を計画的に進めること。（合計30時間）
キーワード/Keywords	大学生活における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / リーディング教材 / 海外の文化
教科書・教材・参考書/Materials	『 Talking About Our Campus 』（小笠原真司・奥田阿子・William Collins・廣江顕 他：英宝社） DVD が付属しています。 音声教材は、http://www.eihosha.co.jp/ の「テキスト音声」から、ダウンロードしておきましょう。（無料です。） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして視聴覚教材を臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。 授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、テキストの問題を解き、DVDを見て、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 8日	導入・授業内容の説明（対面）

第2回	4月15日	Unit 1. Self-introduction (1) The University of Edinburgh
第3回	4月22日	Unit 2. Self-introduction (2)
第4回	5月13日	Unit 3. Self-introduction (3)
第5回	5月20日	Unit 4. Self-introduction (4)
第6回	5月27日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 5. Introduction of the former students
第7回	6月3日	Unit 6. Interview (1) California State University Monterey Bay
第8回	6月10日	Unit 7. Interview (2)
第9回	6月17日	Unit 8. Interview (3)
第10回	6月24日	Unit 8. Interview (4)
第11回	7月1日	Unit 9. Interview (4)
第12回	7月8日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 10. Campus Tour (1) California State University Monterey Bay
第13回	7月16日	Unit 11. Campus Tour (2)
		火曜日1校時に行われますので注意してください。
第14回	7月22日	Unit 12. & 13. Campus Tour (1) (2) City University of New York
第15回	7月29日	Unit 14. & 15. Campus Tour (3) (4)
第16回	1月31日	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005005	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T6(工学部)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jissei▲kwassui.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	正確なコミュニケーションに必要なリスニング力を獲得するため、大学生活に関連するトピックや、大学生が遭遇する可能性があるリアルな状況での会話やトークを大量に聴き、リスニング力の底上げを図ります。授業前半では短い単文や会話、パッセージを素材とします。後半では、アナウンスメント、インタビュー、対話、ニュース等、英語圏の国々で日常的に使われている題材を使って、大意の把握と詳細の理解のためのアクティビティをおこないます。		
授業到達目標/Course goals	アナウンスメント、インタビュー、対話、ニュース等、英語圏の国々で日常的に使われている素材を聴く練習を通して、 (1) 完全に大意を把握することができる、 (2) 8割以上は詳細を理解することができる、 ことを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト : 20% 予習確認用小テスト(LACS) : 30% 授業参加度 : 10% 期末テスト : 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習 : 各ユニットのリスニング問題予習、及びその確認小テスト(LACS)(1時間/回) ・ 復習 : 理解が不十分な箇所について、次の授業までに質問できるようにしておくこと(30分/回))		
キーワード/Keywords	音声変化(連結、同化、脱落、弱形)		
教科書・教材・参考書/Materials	Anthony Allan, Hear Here!: Practical Listening Skills in Real-Life Situations(センゲージラーニング)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業は原則、対面形式でおこないます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: Who Are All These People? (Me, My Family, My Friends)
第2回	Unit 2: I'm a Bookworm (Daily Life and Hobbies)
第3回	Unit 3: Spill the Beans! (People and Characteristics)
第4回	Unit 4: This Is Your Captain Speaking (Vacations and Travel)
第5回	Unit 5: Blow Out the Candles! (Special Events and Holidays)
第6回	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 Unit 6: Everything Came from My Own Brain (Education and Study)
第7回	Unit 7: That Seems Reasonable (Shopping and Money)
第8回	Unit 8: Home Sweet Home (Accommodations and Homes)
第9回	Unit 9: I Bet You Have a Sweet Tooth (Restaurants and Food)
第10回	Unit 10: My Ears Are Ringing! (Going Out and Entertainment)
第11回	Unit 11: She Sounds Promising (Employment and Business)
第12回	Power Words Hybrid 単語テスト2回目 Unit 12: I Have 22 Million Followers (Social Media and News Stories)
第13回	Unit 13: You're in Good Shape! (Health and Wellbeing)
第14回	Unit 14: You Won't Catch Any Fish! (Earth and the Environment)
第15回	Units 1-14 まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005006	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2D1・2D2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2(歯学部)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jissei▲kwassui.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	09043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	正確なコミュニケーションに必要なリスニング力を獲得するため、大学生活に関連するトピックや、大学生が遭遇する可能性があるリアルな状況での会話やトークを大量に聴き、リスニング力の底上げを図ります。授業前半では短い単文や会話、パッセージを素材とします。後半では、アナウンスメント、インタビュー、対話、ニュース等、英語圏の国々で日常的に使われている題材を使って、大意の把握と詳細の理解のためのアクティビティをおこないます。		
授業到達目標/Course goals	アナウンスメント、インタビュー、対話、ニュース等、英語圏の国々で日常的に使われている素材を聴く練習を通して、 (1) 完全に大意を把握することができる、 (2) 8割以上は詳細を理解することができる、 ことを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト : 20% 予習確認用小テスト (LACS) : 30% 授業参加度 : 10% 期末テスト : 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習 : 各ユニットのリスニング問題予習、及びその確認小テスト (LACS) (1時間 / 回) ・ 復習 : 理解が不十分な箇所について、次の授業までに質問できるようにしておくこと (30分 / 回))		
キーワード/Keywords	音声変化(連結、同化、脱落、弱形)		
教科書・教材・参考書/Materials	Anthony Allan, Hear Here!: Practical Listening Skills in Real-Life Situations (センゲージラーニング)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業は原則、対面形式でおこないます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: Who Are All These People? (Me, My Family, My Friends)
第2回	Unit 2: I'm a Bookworm (Daily Life and Hobbies)
第3回	Unit 3: Spill the Beans! (People and Characteristics)
第4回	Unit 4: This Is Your Captain Speaking (Vacations and Travel)
第5回	Unit 5: Blow Out the Candles! (Special Events and Holidays)
第6回	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 Unit 6: Everything Came from My Own Brain (Education and Study)
第7回	Unit 7: That Seems Reasonable (Shopping and Money)
第8回	Unit 8: Home Sweet Home (Accommodations and Homes)
第9回	Unit 9: I Bet You Have a Sweet Tooth (Restaurants and Food)
第10回	Unit 10: My Ears Are Ringing! (Going Out and Entertainment)
第11回	Unit 11: She Sounds Promising (Employment and Business)
第12回	Power Words Hybrid 単語テスト2回目 Unit 12: I Have 22 Million Followers (Social Media and News Stories)
第13回	Unit 13: You're in Good Shape! (Health and Wellbeing)
第14回	Unit 14: You Won't Catch Any Fish! (Earth and the Environment)
第15回	Units 1-14 まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005007	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月、火、木 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日常英会話に使えるさまざまな表現を身につけること、平易な英語で情報を簡潔に伝えること、生きた英語の情報を得ることを通じて、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。		
授業到達目標/Course goals	日常英会話に役立つ語彙・表現が使えるようになる 平易な英語で伝えたい情報を簡潔に伝えられるようになる 英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる 英語で情報を得ることを楽しめるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ☐C.技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 20%(1回目 10%+2回目 10%) 授業の取り組み: 20% 課題・発表: 20% 小テスト: 20% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習:教材の予習および音読練習(30分/回) 復習:配布資料の見直しと課題の取り組み(1時間/回)		
キーワード/Keywords	英語4技能の習得 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Materials	"You're Welcome!" Tae Kudo, Cengage Language, そのほかLACSに演習資料を配信		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	出席状況・授業の積極的な参加を重視します。 第13回目は7月16日（火）振替日に実施されますが、オンデマンド授業となります。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席回数が3分の2に達しない場合、考査の受験資格が与えられません。 ただし、欠席届(学生便覧参照)やその他やむを得ない理由については、当該欠席時数について考慮することがあります。 対面授業がオンライン授業に変更になることもありますので、対面授業日前にLACSの連絡事項を必ず確認してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	（対面）オリエンテーション	A B
第2回	（対面）Unit 1 会話演習・音読とリスニング	A B
第3回	（対面）Unit 2 会話演習・音読とリスニング	A B
第4回	（対面）Unit 3 会話演習・音読とリスニング	A B
第5回	（対面）Unit 4 会話演習・音読とリスニング	A B
第6回	（対面）e-learning 教材学習テスト 1回目	A B
第7回	（対面）Unit 5 会話演習・音読とリスニング	A B
第8回	（対面）Unit 6 会話演習・音読とリスニング	A B
第9回	（対面）Unit 7 会話演習・音読とリスニング	A B
第10回	（対面）Unit 10 会話演習・音読とリスニング	A B
第11回	（対面）Unit 11 会話演習・音読とリスニング	A B
第12回	（対面）e-learning 教材学習テスト 2回目	A B
第13回	（オンデマンド）会話演習の総括	A B
第14回	（対面）プレゼンテーション	A B
第15回	（対面）プレゼンテーション	A B
第16回	（対面）定期試験	A D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005008	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashimatakumi2020▲yahoo.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ねらい: 様々な英語の練習問題を解きながら、英語の理解を深め、コミュニケーション能力を高めてゆく。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	辞書無しでも英文が読めるようになる。 英文の要点が解るようになる。 英文の内容を推測できるようになる。 色々な地域で使われる英語の聞き取りができるようになる。 リスニング教材の要点が解るようになる。 リスニング教材の内容を推測できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 60% 学期中に2回行う小テスト20% Power Words Hybrid 単語テスト 20%(1回目 10% + 2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自主学習(合計30時間) 予習: 毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。(1時間 / 回) 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするように務めること。不明瞭は所は、次の授業で解決出来るように質問を整理しておくこと。(1時間 / 回)		
キーワード/Keywords	TOEIC 470		
教科書・教材・参考書/Materials	The TOEIC Test Trainer Target 470 Revised Edition (センゲージラーニング株式会社 生協で購入すること。)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	定期試験の受検資格は大学の規定による。教科書は必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction プリントを使用した学習は毎回行う。
第2回	Unit 1 予定 動詞・五文型
第3回	Unit 2 数量を尋ねる 名詞
第4回	Unit 3 命令・依頼 形容詞・副詞
第5回	Unit 4 広告・宣伝
第6回	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第7回	Unit 5 時間をたずねる 動名詞
第8回	Unit 6 場所を尋ねる to 不定詞
第9回	Unit 7 確認 分詞
第10回	Unit 8 留守番
第11回	Unit 9 アドバイス 受動態
第12回	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト 小テスト
第13回	Unit 10 誘い 比較
第14回	Unit 11 申し出 関係詞
第15回	Unit 12 講演者紹介 まとめ

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005009	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西川 美香子		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西川 美香子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西川 美香子		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-nishikawa▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	内線(2952)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて事前予約のこと(水曜日の3限又は4限)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	理工系の英語学習者のための総合英語学習テキストを使います。様々なトピックに沿って、いろいろなアイディアや情報を交換し、それらをまとめてパラフレーズ(要約)する能力を身につけます。これによりスムーズな英語コミュニケーション能力の向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	英語で話し合ったり、意見の交換ができる。(can brainstorming ideas in English) 相異なる意見を自分の言葉でまとめることができる。(can paraphrase/summarize in your own words) 自分の意見をその根拠を添えて英語で伝えることができる。(can articulate opinions with supporting evidence)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Attendance and Participation 20% Power Words Hybrid (単語テスト) 2回. (10%+10%) = 20% Writing Homeworks (30%) Group Presentation (10%) Group Presentation (20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定された教科書の範囲に取り組む (1時間/回) 復習: LACSで配布する復習発展課題に取り組む (1時間/回) この授業では予習・復習を前提として授業を進める。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	Academic Foundations in English- Building a Career in Science, Level 1 Michael Schulman, Hiroyo Yoshida, Cengage Learning (2019) ISBN: 978-4-86312-353-3 2,420円(税込み)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月8日	オリエンテーション Lesson 1. Human Library and Profile Grammar: 前置詞、副詞、接続詞を使った言い換え Listening: Listen to a dialogue about human library Speaking: Make a career plan Writing: Write a curriculum vitae with personal strengths and weakness
第2回 4月15日	Lesson 2. Keeping a Career Log Grammar: 動詞の形 Listening: Listen to Q&As about the human library event Speaking: Share your future career goals Writing: Write about the major activities and experiences on your C.V
第3回 4月22日	Lesson 3. Rules in the School Library Grammar: 時間・場所 Listening: Listen to a dialogue about resources in the library Speaking: Discuss where things are located in your room using a spatial order Writing: Write a short description of the layout of the campus map.
第4回 5月13日	Lesson 4. Amazing Inventions Grammar: 知覚や感覚に関連する動詞 Listening: Listen to a dialogue about amazing inventions Speaking: Discuss and describe a famous person who you admire. Writing: Write a paragraph about a personal trait with personality adjectives.
第5回 5月20日	Lesson 5. The Sun Is White Grammar: 形容詞と形容詞節 Listening: Listen to a dialogue about the color of the sunset. Speaking: Discuss and describe a favorite possession. Writing: Write a paragraph about a favorite personal high-tech gadget using variety of adjectives (size, shape, color, origin, material, characteristics, function)
第6回 5月27日	PW 単語テスト(1回目) Wrapping up lessons from 1 to 5
第7回 6月3日	Lesson 6. Online Social Networking Grammar: 名詞と名詞節 Listening: Listen to a dialogue about online vs. face-to-face communication. Speaking: Discuss your first experience of using a computer (age, feeling etc.) Writing: Write a paragraph about how your partner learned to use a computer in a sequential order.

第8回 6月10日	Lesson 7. Robotic Cleaner Grammar: 名詞の数詞、不可算名詞 Listening: Listen to a dialogue about an automated robotic vacuum cleaner. Speaking: Discuss what kind of robot you might like to build one day. Writing: Write a paragraph about your ideal robot, including features and reasons for making one.
第9回 6月17日	Lesson 8. Water Survey Grammar: 動詞の形 (2) Listening: Listen to a dialogue about an experiment to analyze water pollution for a project. Speaking: Talk about the most interesting experiment you have ever done.
第10回 6月24日	Lesson 9. Optical Illusions Grammar: 比較級と最上級の形容詞の動詞 Listening: Listen to a dialogue about optical illusion for a presentation project. Speaking: Compare and contrast different functions of your mobile phone apps with your partner. Writing: Write a paragraph which compares an old and the latest version of your favorite
第11回 7月1日	Lesson 17. School Planning and Design Grammar: if clauses: 条件節 Listening: Listen to a dialogue about designing a school building. Speaking: Explain your partner the most impressive building you have ever seen and why. Writing: Write a paragraph about the most impressive building you've ever seen.
第12回 7月8日	PW 単語テスト (2回目) Tips on how to give an effective presentation: Architecture
第13回 7月16日(火)	Group Presentation in Practice
第14回 7月22日	Group Presentation Day
第15回 7月29日	In-class Discussions
第16回 8月5日	Feedback Day (振り返り)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005010	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami▲kwassui.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックなテキストの理解力を向上させることです。効果的に理解ためのスキルの体得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点を得ることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな教材に触れ、読む・聞くことから視点を理解し、書く・話すことにより自分の考えを表明できるようになる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト (30%) 期末テスト (30%) Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%) 授業貢献 (20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・Power Words Hybridを用いた単語の習熟(自主勉強、30時間) ・予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	リスニング・ストラテジー、リーディング・ストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考(クリティカル・シンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	可能ならパソコンかタブレットを持参してください。特に、小テスト、期末テストでは持参するのが望ましいです。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式を予定しています。しかし、状況により変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験からビジネスで使える英語についても解説する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1: In the Presence of Animals
第3回	Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 2: Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Chapter 1 quiz Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading 1: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading 1: Young Football Players injured but not forgotten
第6回	Power Words Hybrid 単語テスト（1回目） Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading 1: An Unbreakable Code
第7回	Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading 1: An Unbreakable Code
第8回	Topic sentence in Introduction Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading 2: Languages Die Out, Taking History Along
第9回	Chapter 3 quiz Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading 1: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第10回	Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance: Reading 2: Fourteen Years Later
第11回	Chapter 5 quiz Social Justice: Reasons Why We Speak English: Peace Talk of Atomic Bomb Survivors
第12回	Power Words Hybrid 単語テスト（2回目） Social Justice: Reasons Why We Speak English: Testimonies of Atomic Bomb Survivors
第13回	Chapter 9:Economics: Batering in the 21st Century; Reading 1: Swap Tree-Simple, Easy Online Trading
第14回	Chapter 9:Economics: Batering in the 21st Century; Grameen Bank
第15回	振り返りとまとめ
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005011	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医学部医学科(2M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標/Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト(Power Words Hybrid 単語テスト)20%、課題および小テスト20%, Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。(1時間/回) (2) Presentationの準備を入念に行うこと。(2時間/回) (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。(合計30時間)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Idiomatic American English		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面 Course Outline
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a Ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 12 An Eager Beaver
第 5 回	対面 Presentation No.1 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 6 回	対面 Lesson 15 A Pep Talk
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 8 回	対面 Presentation No.2 Lesson 20 In the Swing of Things
第 9 回	対面 Lesson 25 Coming Through with Flying Colors
第 1 0 回	対面 Lesson 49 An Old Flame
第 1 1 回	対面 Presentation No.3 Lesson 51 A Knockout
第 1 2 回	対面 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 59 In the Same Boat
第 1 4 回	対面 Presentation No.4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	対面 Final Exam

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005012	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。また、四技能のうち、スピーキングとライティングという発信型スキルを用いて、短い時間で各自の考えをまとめ、ショートプレゼンを行ったり短いエッセイや要約を書けるよう訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybride単語テスト(20%)(1回目10%+2回目10%), 予習チェッククイズ等(40%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材を配布し、LACSの「授業資料」にアップする。 e-learning学習教材は、Power Words Hybridのみ。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974		
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式(Zoomを使用)で行う場合は、事前にメールで配信する。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (1)授業概要の説明 (2)e-learning教材の説明 (3)sample listening test,
第2回	Listening 1, プリント教材"Introduction to Academic Writing"
第3回	Listening 2, プリント教材"The Disappearance of Left-handers"
第4回	Listening 3, プリント教材"Access to Water"
第5回	Listening 4, プリント教材"The Nature of Terrorism"
第6回	Listening 5, プリント教材"Harry Potter"
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度)、プリント教材"Marriage"
第8回	Grammar and Written Expression 1, プリント教材"Information Age (1)"
第9回	DVD教材(1) *DVD教材を視聴し、登場人物の台詞を書き取ってみましょう。
第10回	DVD教材(2) *DVD教材を視聴し、登場人物の台詞を書き取り、自分が使える表現かどうか検証してみましょう。
第11回	Grammar and Expression 2, プリント教材"Slow Food Movement"
第12回	Grammar and Written Expression 3, プリント教材"Information Age (2)"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度)、プリント教材"Volunteering Activities"
第14回	Grammar and Written Expression 4, プリント教材"The Power of Laughter"
第15回	Grammar and Written Expression 5, プリント教材"Cloud Computing"
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005013	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	作元 裕也		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	作元 裕也		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	作元 裕也		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	(2M3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ysakumoto▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2379		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、又は要相談(上記メールアドレスにメールを送ってください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「大学生のためのCNNニュース・リスニング: SDGs編」を用い、英語の総合的な基礎力を向上させることを目的とします。授業内のディスカッションを通し、英語で論理的に自分の伝えたいことを表現でできるようになることを目的としています。また、大切な文法事項を取り扱います。		
授業到達目標/Course goals	1. リスニング能力を向上させることができる。2. リーディング能力を向上させることができる。3. 授業のトレーニングにより、英語の表現能力を向上させることができる。4. 文法の理解を深めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%), 定期試験(70%)、授業参加度(10点),		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1. Unitの問題を解いて、わからない単語を調べる。そして、それらの単語の用例も調べる。また、該当するUnitのTopic に関して理解を深めておく。(2.0h/回) 2. 授業で習ったことを復習し、確実に内容を理解すること。(1.5h/回) e-learning (合計30h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	大学生のためのCNNニュース・リスニング: SDGs編, 朝日出版社		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	授業は対面で実施します。変更がある場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	Unit 1
第 3 回	Unit 2
第 4 回	Unit 3
第 5 回	Unit 4
第 6 回	Unit 5
第 7 回	Unit 6, Power Words Hybrid 単語テスト1回目
第 8 回	Unit 7
第 9 回	Unit 8
第10回	Unit 9
第11回	Unit 10
第12回	Unit 11
第13回	Unit 12,Power Words Hybrid 単語テスト2回目
第14回	Unit 13
第15回	Unit 14, 15
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005014	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2K1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72▲wesleyan.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:30~(火曜日)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の進展に伴い様々なビジネス場面において、英語での円滑なコミュニケーション能力が必要とされています。本授業では日常生活やビジネスの場面で想定される会話文・ナレーションや文章を理解し、場面に応じてアウトプットを行うことで、実践的な英語力の向上を目指します。また、TOEICのテストスキルを養い、スコアアップにつなげていきます。		
授業到達目標/Course goals	・日常生活やビジネスの場面で求められる語彙・表現を習得することができる。 ・日常生活やビジネスの場面を想定した対話文やナレーションを理解することができるようになる。 ・日常生活やビジネス現場などの場面に応じた表現を用いて対話を行うことができるようになる。 ・多様な形式の文章を読んで理解することができるようになる。 ・状況に応じた簡単な文章を書くことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・e-learning教材学習テスト(20%)(テスト 10%、テスト 10%) ・小テスト(20%) ・Review Test(1)(25%) ・Review Test(2)(25%) ・授業への姿勢(遅刻・発言・提出物などを含む)(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計 30 時間) 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1 時間/回) 復習: 指定された教科書のチャレンジ問題に取り組むこと(1 時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・教科書・テキスト The High Road to the TOEIC Listening and Reading ・Koji Hayakawa 他著(金星堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	自分の英語力の現状と目標を把握し、着実に力がつくよう授業に取り組んでください。 授業ではペアワーク・グループワークも行います。クラスメートと協力しながら、英語コミュニケーション能力を高めていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション ガイダンス Communication Activity
第2回	Unit 1 Travel PART 1: 人物の動作：1 人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 会話の冒頭部分は特に集中する / PART 4: 言い換えに注意する PART 5: 時制 / PART 6: 時制 / PART 7: 「目的」は冒頭からつかむ
第3回	Unit 2 Dining Out PART 1: 人物の位置・場所：1 人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: レストランで使われる表現を覚える / PART 4: 話し手と聞き手を常に意識する PART 5: 主述の一致 / PART 6: 時制 / PART 7: 文書の目的を問う問題
第4回	Unit 3 Media PART 1: 光景：受動態が使われるパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 話題を意識する / PART 4: ニュースは冒頭をしっかりと聞く PART 5: 能動態・受動態 / PART 6: 接続表現 / PART 7: NOT 問題
第5回	Unit 4 Entertainment PART 1: 人物の動作：2 人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 場所をイメージする / PART 4: 図表問題は情報を関連づける PART 5: 動名詞・不定詞 / PART 6: 接続表現 / PART 7: 文を挿入する問題
第6回	Unit 5 Purchasing PART 1: 人物の位置・場所：2 人のパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 店内での会話のパターンを覚える / PART 4: ポイントをしばって待つ PART 5: 代名詞 / PART 6: 代名詞 / PART 7: 答えを推測する問題
第7回	e-learning教材学習テスト Communication Activity
第8回	Unit 6 Clients PART 1: 光景：現在進行形が使われるパターン / PART 2: WH 疑問文 PART 3: 顧客との取引の流れをおさえる / PART 4: 未来に起こることに注意する PART 5: 品詞 / PART 6: 代名詞 / PART 7: 意図問題
第9回	Unit 7 Recruiting PART 1: 人物の動作：3 人以上のパターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 語彙から就職の段階を推測する / PART 4: 問われるポイントを事前に確認する PART 5: 品詞 / PART 6: 語彙 / PART 7: 同義語問題
第10回	Review Test Unit1~7 Communication Activity
第11回	Unit 8 Personnel PART 1: 人物の位置・場所：3 人以上のパターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 必要な情報を意識する / PART 4: 人事に関するイベントを頭に入れる PART 5: 品詞 / PART 6: 語彙 / PART 7: 詳細情報を見つける

第12回	Unit 9 Advertising PART 1: 光景：位置関係の表現パターン / PART 2: Yes / No 疑問文 PART 3: 広告に関する会話の流れをおさえる / PART 4: 注目を集める表現に注意する PART 5: 比較 / PART 6: 文選択 / PART 7: 文書の目的を問う問題
第13回	e-learning教材学習テスト Communication Activity
第14回	Unit 10 Meetings PART 1: 人物の動作：身に着けている表現パターン / PART 2: 付加疑問文 PART 3: 予定変更のキーワードをとらえる / PART 4: 会議の目的をとらえる PART 5: 前置詞 / PART 6: 文選択 / PART 7: 意図問題
第15回	総まとめ & Review Test

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005015	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2K2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi ▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	第一言語あるいは第二言語として話されるどのような種類の英語であっても聞き取れるようになる。 英語で伝えられるテレビ放送をスクリプトや字幕無しで視聴理解することができるようになる。 英語で視聴したテレビ放送の内容についての自分の意見を、英語で主張できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文 20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 40% 平常点20%(予復習結果、英作文課題、音読課題提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト20%(1回目 10% + 2回目 10%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習（合計30 時間） ・授業ルーティーン 予習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：教科書の範囲の予習を行った採点結果をLACS経由で成果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること、（1 時間 / 回） ・授業ルーティーン 予習：教科書の次の範囲の予習を行いLACS経由で解答結果を報告すること、理解確認のための単元の最終課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で採点結果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること ふりかえり：ルーティーン で指示した音読箇所の訓練結果を録音し、LACS経由で成果を報告すること、単元の学修を振り返るスタディレポートを作成してLACS経由で成果を報告すること（1 時間 / 回）
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	主教材：NHK NEWSLINE 7（金星堂）副教材：Campus Listening(成美堂)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタブログラム音読、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。 別途指示がない限り対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/9 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/16 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1 ルーティーン
第3回	4/23 副教材 Unit 3、主教材 教科書 Unit 1 ルーティーン
第4回	5/7 副教材 Unit 4、主教材 教科書 Unit 3 ルーティーン
第5回	5/14 副教材 Unit 5、主教材 教科書 Unit 3 ルーティーン
第6回	5/21 副教材 Unit 6、主教材 教科書 Unit 5 ルーティーン
第7回	5/28 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 Unit 5 ルーティーン
第8回	6/4 副教材 Unit 8、主教材 教科書 Unit 7 ルーティーン
第9回	6/11 副教材 Unit 9、主教材 教科書 Unit 7 ルーティーン
第10回	6/18 副教材 Unit 11、主教材 教科書 Unit 9 ルーティーン
第11回	6/25 副教材 Unit 12、主教材 教科書 Unit 9 ルーティーン
第12回	7/2 副教材 Unit 13、主教材 教科書 Unit 11 ルーティーン
第13回	7/9 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 14、主教材 教科書 Unit 11 ルーティーン
第14回	7/23 副教材 Unit 21、主教材 教科書 Unit 15 ルーティーン
第15回	7/30 副教材 Unit 24、主教材 教科書 Unit 15 ルーティーン
第16回	8/6 提出物最終締め切り、授業の振り返り

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005016	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2K3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2 K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu▲yahoo.co.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。 (2) 話すことと聴くことの技能を身に着ける。 (3) ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。 (4) 語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。 (5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。 (6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。 (7) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (8) 練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (9) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。 (10) 海外の大学生活における英語表現を通して、ダイアログの背景や、スコットランドとアメリカ合衆国の文化に対する理解を深めることができる。 (11) 各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	(1) 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができるようになる。 (2) 語彙力を増強することができるようになる。 (3) 英語の構文・文法・表現について理解を深めることができるようになる。 (4) 美しい発音ができ、リスニングの能力を養うことができるようになる。 (5) 表現を声に出して述べるができるようになる。 (6) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (7) 適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (8) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養うことができるようになる。 (9) 日常会話を通して、ダイアログの背景や、英語圏の文化に対する理解を深めることができるようになる。 (10) 各自の現在の能力をさらに向上させることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験（50%）＋ Power Words Hybrid 単語テスト（20% 10% ＋ 10%）＋ 小テスト（15%）＋ 積極的な授業への取り組み（15%）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業時間（15時間）、事前学修時間（15時間）、事後時間（15時間）の、合計45時間の学修を必要とします。 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、自宅で音声教材を聴きDVDを見て、テキストの問題を解いて授業に臨むこと。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テストで確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・予習： 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（2時間/回） ・復習： 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（2時間/回） Power Words Hybrid 単語テストの自学自習を計画的に進めること。（合計30時間）
キーワード/Keywords	大学生活における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / リーディング教材 / 海外の文化
教科書・教材・参考書/Materials	『 Talking About Our Campus 』（小笠原真司・奥田阿子・William Collins・廣江顕 他：英宝社） DVD が付属しています。 音声教材は、http://www.eihosha.co.jp/ の「テキスト音声」から、ダウンロードしておきましょう。（無料です。） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして視聴覚教材を臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。 授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、テキストの問題を解き、DVDを見て、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 9日	導入・授業内容の説明（対面）

第2回	4月16日	Unit 1. Self-introduction (1) The University of Edinburgh
第3回	4月23日	Unit 2. Self-introduction (2)
第4回	5月7日	Unit 3. Self-introduction (3)
第5回	5月14日	Unit 4. Self-introduction (4)
第6回	5月21日	Unit 5. Introduction of the former students
第7回	5月28日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 6. Interview (1) California State University Monterey Bay
第8回	6月4日	Unit 7. Interview (2)
第9回	6月11日	Unit 8. Interview (3)
第10回	6月18日	Unit 8. Interview (4)
第11回	6月25日	Unit 9. Interview (4)
第12回	7月2日	Unit 10. Campus Tour (1) California State University Monterey Bay
第13回	7月9日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 11. Campus Tour (2)
第14回	7月23日	Unit 12. & 13. Campus Tour (1) (2) City University of New York
第15回	7月30日	Unit 14. & 15. Campus Tour (3) (4)
第16回	7月6日	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005017	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。また、四技能のうち、スピーキングとライティングという発信型スキルを用いて、短い時間で各自の考えをまとめ、ショートプレゼンを行ったり短いエッセイや要約を書けるよう訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybride単語テスト(20%)(1回目10%+2回目10%), 予習チェック等(40%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題(2時間/回)、事後学習として課題の見直し(1時間/回) e-learning自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材は、LACSの「授業資料」にアップする。 e-learning学習教材は、Power Words Hybridのみ。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974		
備考/Remarks	本授業は、原則、対面で行う。なお、オンライン形式(Zoomを使用)で行う場合は、事前にメールで配信する。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕/高等学校英語教員としての実務経験/高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。/ 佐賀県立致遠館高等学校 佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (1)授業概要の説明 (2)e-learning教材の説明 (3)sample listening test
第2回	Listening 2, プリント教材"Introduction to Academic Writing"
第3回	Listening 3, プリント教材The Disappearance of Left-handers""
第4回	Listening 4, プリント教材(3) "Access to Water"
第5回	Listening 5, プリント教材(4) "The Nature of Terrorism"
第6回	Grammar and Written Expression 1, プリント教材(5) "Harry Potter"
第7回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(6) "Information Age (1)"
第8回	Grammar and Written Expression 2, プリント教材(6) "Marriage"
第9回	DVD教材視聴(1) * 登場人物の台詞を書き取ってみよう。
第10回	DVD教材視聴(2) * 登場人物の台詞を書き取り、これまで知識として身に付けた英語表現・文法等と比較してみよう。
第11回	Grammar and Written Expression 3, プリント教材(7) "Slow Food Movement"
第12回	Grammar and Written Expression 4, プリント教材(8) "Information Age (2)"
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度)、プリント教材(10) "The Power of Laughter"
第14回	Grammar and Written Expression 5, プリント教材(9) "Volunteering Activities"
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005018	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi ▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	第一言語あるいは第二言語として話されるどのような種類の英語であっても聞き取れるようになる。 英語で伝えられるテレビ放送をスクリプトや字幕無しで視聴理解することができるようになる。 英語で視聴したテレビ放送の内容についての自分の意見を、英語で主張できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文 20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 40% 平常点20%(予復習結果、英作文課題、音読課題提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト 20%(1回目 10% +2回目 10%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習（合計30 時間） ・授業ルーティーン 予習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：教科書の範囲の予習を行った採点結果をLACS経由で成果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること、（1 時間／回） ・授業ルーティーン 予習：教科書の次の範囲の予習を行いLACS経由で解答結果を報告すること、理解確認のための単元の最終課題に取り組みLACS経由で解答結果を報告すること 復習：理解確認のための英作文課題に取り組みLACS経由で採点結果を報告すること、副教材のSection2の音読を訓練し、録音結果をLACS経由で成果を報告すること ふりかえり：ルーティーン で指示した音読箇所の訓練結果を録音し、LACS経由で成果を報告すること、単元の学修を振り返るスタディレポートを作成してLACS経由で成果を報告すること（1 時間／回）
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	主教材：NHK NEWSLINE 7(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)
受講要件（履修条件）/Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるプログラム音読、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。 別途指示がない限り対面で実施。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/9 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/16 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 2 ルーティーン
第3回	4/23 副教材 Unit 3、主教材 教科書 Unit 2 ルーティーン
第4回	5/7 副教材 Unit 4、主教材 教科書 Unit 4 ルーティーン
第5回	5/14 副教材 Unit 5、主教材 教科書 Unit 4 ルーティーン
第6回	5/21 副教材 Unit 6、主教材 教科書 Unit 6 ルーティーン
第7回	5/28 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 Unit 6 ルーティーン
第8回	6/4 副教材 Unit 8、主教材 教科書 Unit 8 ルーティーン
第9回	6/11 副教材 Unit 9、主教材 教科書 Unit 8 ルーティーン
第10回	6/18 副教材 Unit 11、主教材 教科書 Unit 10 ルーティーン
第11回	6/25 副教材 Unit 12、主教材 教科書 Unit 10 ルーティーン
第12回	7/2 副教材 Unit 13、主教材 教科書 Unit 12 ルーティーン
第13回	7/9 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 14、主教材 教科書 Unit 12 ルーティーン
第14回	7/23 副教材 Unit 21、主教材 教科書 Unit 14 ルーティーン
第15回	7/30 副教材 Unit 24、主教材 教科書 Unit 14 ルーティーン
第16回	8/6 提出物最終締め切り、授業の振り返り

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005019	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2M6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72▲wesleyan.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日(12:00~)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国際化の進展に伴い、日本の医療現場においても英語コミュニケーション能力の必要性が高まっています。本授業では、実際の医療現場で想定される対話の練習、医療に関する簡単な文章の読解を通じて、現場で役立つ実践的な英語力の向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	語形成の特徴を理解しながら医学専門用語を習得することができる。 医療現場を想定した対話を聞いて理解することができるようになる。 医療に関する簡単な文章を読んで理解し、自分の意見を述べるようになる。 医療現場で用いられる表現を使って、場面に応じた適切なコミュニケーションをとることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・e-learning教材学習テスト(20%)(テスト 10%、テスト 10%) ・小テスト(20%) ・語彙アクティビティーポイント(10%) ・Review Test (1)(20%) Review Test (2) (20%) ・授業への姿勢(遅刻・発言・提出物などを含む)(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning自学自習(合計30h) ・毎回小テストをしますので、学習してください(2h) ・教科書の次回トピックについて事前学習を行う(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教科書・テキスト First Aid!: English for Nursing Akihiko Higuchi他著(金星堂)、1,900円+税		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではペア・グループ活動があります。日頃から自分の意見を英語で言えるようになるよう、語彙・表現力を身に付けるよう努めてください。英語でのコミュニケーションを楽しめるようになりますようにしましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	guidance 授業の進め方、成績評価の説明等 コミュニケーション活動
第2回	Unit 1 First Visit to a Hospital 来院
第3回	Unit 2 How to Fill in a Registration Form 初診受付
第4回	Unit 3 Let's Ask Daily Activities 生活習慣を聞く
第5回	Unit 4 Symptoms 問診する（１）
第6回	Unit 5 Medical Check up 1 脈拍、血圧、体重の測定
第7回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第8回	Unit 6 Medical Check up 2 採血、採尿
第9回	Reviewテスト
第10回	Unit 7 Diagnosis 診断結果（１）
第11回	Unit 8 Symptoms 問診する（２）
第12回	Unit 9 Let's Ask More about Symptoms 症状をより詳しく聞く
第13回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第14回	Unit 10 Explaining Blood Test Results 診断結果（２）
第15回	総まとめ Review Test

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005020	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的や場面、状況に応じて、言語活動を通して英語を使って上手く機能し、適切に対応しながらやり取りや発表をすることができるようになるために、リスニングやスピーキングの活動を中心に、その場面にふさわしい英語表現を機能やトピックを提示し、実用的な英語の習得を目指します。英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景やマナーについても考え、異文化理解に対する意識の向上と、異質なものを容認する態度の育成に努めます。		
授業到達目標/Course goals	異文化コミュニケーションに不可欠な「目標文化圏における思想や価値観の理解」を意識しつつ、英語圏文化やその中のコミュニケーションの在り方と日本独自の文化との相違を視野におさめ、目的や場面、状況に応じて英語を用いた幅広いコミュニケーション能力を育成します。発音や文法についても、必要と思われる箇所では必ず触れ、「自然な英語」を話す力を身に付けます。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Quiz 20%, Final Exam 30%, Assignments 20%, Class Participation 10%,Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10%+2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読しできるだけ暗記しておいてください。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおいてください。 ・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) ・Power Words Hybrid自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	スピーキング、リスニング、異文化コミュニケーション、異文化理解、発音		
教科書・教材・参考書/Materials	『すぐに使える英会話 対話ミニフレーズ300』山崎祐一 著(Jリサーチ出版) その他、英語コミュニケーション演習のハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面） 外国語学習における異文化理解と発音の大切さ
第2回	（対面） 毎日のあいさつ、初対面のあいさつ、別れのあいさつ コミュニケーションアクティビティ
第3回	（対面） フレンドリーに話しかける コミュニケーションアクティビティ
第4回	（対面） 即座に返答する コミュニケーションアクティビティ
第5回	（対面） 感謝の気持ちを表現する コミュニケーションアクティビティ
第6回	（対面） 中間クイズ（１） 既習のダイアログの確認と発展
第7回	（対面） Power Words Hybrid単語テスト1回目 謝罪の気持ちを表現する コミュニケーションアクティビティ
第8回	（対面） 英語による謙遜のしかた コミュニケーションアクティビティ
第9回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（１）
第10回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（２）
第11回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（３）
第12回	（対面） 中間クイズ（２） 既習のダイアログの確認と発展
第13回	（対面） Power Words Hybrid単語テスト2回目 天気の話をする コミュニケーションアクティビティ
第14回	（対面） 電話で話す コミュニケーションアクティビティ
第15回	（対面） 英語コミュニケーションに必要な知識及び技能に関する総括
第16期	（対面） 期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005021	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T8) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2 T 8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu▲yahoo.co.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアローグの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにす。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。大学生活における英語表現を通して、ダイアローグの背景や、英国とその文化に対する理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができるようになる。語彙力を増強することができるようになる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができるようになる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養える。表現を声に出して述べることができるようになる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養うことができるようになる。日常会話を通して、ダイアローグの背景や、英語圏の文化に対する理解を深めることができるようになる。また、各自の現在の能力をさらに向上させることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (50%) + Power Words Hybrid 単語テスト (20% = 10% + 10%) + 小テスト (15%) + 積極的な授業への取り組み (15%) 定期試験を筆記で行います。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業時間（ 15時間 ）、事前学修時間（ 15時間 ）、事後時間（ 15時間 ）の、合計45時間の学修を必要とします。 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて授業に臨むこと。 音声教材を必ず自宅で事前に聴いておいてください。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。 小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・予習： 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（ 2時間 / 回 ） ・復習： 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（ 2時間 / 回 ） Power Words Hybrid 単語テストの自学自習を計画的に進めること。（ 合計30時間 ）
キーワード/Keywords	大学生活における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / リーディング教材
教科書・教材・参考書/Materials	Chat and Share! 『話してみよう!トピックベースの英会話』（Diane H. Nagatomo: 金星堂） 音声教材は、http://www.kinsei-do.co.jp/download/4106 から、無料でダウンロードしておきましょう。 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2974
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。 授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。 必ず事前の自宅学習で、問題を解き、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Chapter 1 Campus Life
第3回 4月23日	Chapter 2 Weekends
第4回 5月 7日	Chapter 3 Japanese Culture
第5回 5月14日	Chapter 4 Healthy Living
第6回 5月21日	Chapter 5 Fashion
第7回 5月28日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト Chapter 6 Lifestyle
第8回 6月 4日	Chapter 7 Celebrations
第9回 6月11日	Chapter 8 Travel
第10回 6月18日	Chapter 9 Food
第11回 6月25日	Chapter 10 The Environment
第12回 7月 2日	Chapter 11 Business
第13回 7月 9日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト Chapter 12 The Internet and Social Media

第 1 4 回	7 月 2 3 日	Chapter 13 Sports
第 1 5 回	7 月 3 0 日	Chapter 14 A Barrier-free Society
第 1 6 回	8 月 6 日	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005022	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2T9) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語の理解能力の基礎を作る。		
授業到達目標/Course goals	本授業の到達目標は、1)口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)リスニングに対応できる語彙数を増やす、3)英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5)英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、Power Words Hybrid 単語テスト20%・課題40%・期末試験40%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題40%・期末試験40%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	1) Power Words Hybrid 単語学習:合計30時間 2) 課題:毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。ただし、授業実施環境・状況によってはリアルタイムオンラインになることもある。
学生へのメッセージ/Message for students	英語学習の意義を再度考え、課題に意欲的に取り組んで欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト
第2回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理1
第3回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理2
第4回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと口語英語の理解・整理3
第5回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ1
第6回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ2
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト（1回目） アメリカのドラマを題材にしたリスニングとリスニングに対応した語彙力のアップ3
第8回	第2回目から第7回目の授業のまとめ、フィードバック
第9回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペ어의整理・理解1
第10回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペ어의整理・理解2
第11回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと母音・子音のミニマルペ어의整理・理解3
第12回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解1
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト（2回目） アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解2
第14回	アメリカのドラマを題材にしたリスニングと連続音の整理・理解3
第15回	授業全体のまとめ、フィードバック
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005023	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2L1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi▲n-junshin.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標/Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☒ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容確認小テスト10% プレゼンテーション 10% 定期試験 50% 授業参加度 10% Power Words Hybrid 単語テスト20%(1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備(1時間/回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分/回)		
キーワード/Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書/Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第12回	Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第14回	Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション

第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005024	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2L2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部(2L2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標/Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト(Power Words Hybrid 単語テスト)20%、課題および小テスト20%、Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。1時間/回) (2) Presentationの準備を入念に行うこと。(2時間/回) (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。(合計30時間)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Idiomatic American English		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面 Course Outline
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a Ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footoing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 12 An Eager Beaver
第 5 回	対面 Presentation No.1 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 6 回	対面 Lesson 15 A Pep Talk
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 8 回	対面 Presentation No.2 Lesson 20 In the Swing of Things
第 9 回	対面 Lesson 25 Coming Through Flying Colors
第 1 0 回	対面 Lesson 49 An Old Flame
第 1 1 回	対面 Presentation No.3 Lesson 51 A Knockout
第 1 2 回	対面 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 59 In the Same Boat
第 1 4 回	対面 Presentation No.4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	対面 Final Exam

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005025	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにてアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図ることができる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングができる。 3・会話表現を学び、実際の会話で使うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ■E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・授業への取り組み(20点) ・レポート提出(30点) ・期末試験(30点) ・e-learning教材学習テスト(20点) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・音読の復習練習(合計2時間) ・レポートの為に映画視聴及びレポート作成(合計13時間)		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備します。日常の英会話で使われる表現・文法事項をアウトプットしながら定着させていきます。またレポート作成を通し授業外でも英語環境を積極的に作る習慣づけを行います。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできた語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰 英語を外国語として学ぶ学習者に効果的な英語使用のトレーニングを通し、英語習得に向けた学習を促す。 会話で使用されると予測されるトピック、イディオム等を各授業で準備する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第2回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) 各種英語テストに関する説明
第3回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第4回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第5回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第6回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第8回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第9回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第10回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第11回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第12回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト2回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第14回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第15回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005026	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自分の考えを適切に表現するため、文法に則った文章を作成する訓練をする。ユニットごとのテーマに関連する語句を学んで語彙力を養い、発音の特徴を確認する。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験35%、小テスト(音読・筆記)20%、ペアでの会話発表15%、授業への積極的な参加状況(遅刻・欠席・予習等)10%、e-learning教材学習テスト20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間/回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。 ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Express English Effectively!, Mark Petersen, Tsurumi Shoten, 2024		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。インフルエンザ・忌引き等の理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	（対面）授業の進め方とe-learningの説明
2回	（対面）Unit 1(1)
3回	（対面）Unit 1(2)
4回	（対面）Unit 2
5回	（対面）Unit 3
6回	（対面）Unit 4
7回	（対面）e-learning学習教材テスト1回目、インターネット上の英語を読む
8回	（対面）Unit 5
9回	（対面）Unit 6
10回	（対面）Unit 7
11回	（対面）Unit 8
12回	（対面）Unit 9
13回	（対面）e-learning学習教材テスト2回目、インターネット上の英語を聞く
14回	（対面）ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	（対面）リスニング・リーディングのポイント確認
16回	（対面）定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005027	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月、火、木(メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日常英会話に使えるさまざまな表現を身につけること、平易な英語で情報を簡潔に伝えること、生きた英語の情報を得ることを通じて、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。		
授業到達目標/Course goals	日常英会話に役立つ語彙・表現が使えるようになる 平易な英語で伝えたい情報を簡潔に伝えられるようになる 英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる 英語で情報を得ることを楽しめるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト 20%(1回目 10%+2回目 10%) 授業の取り組み: 20% 課題・発表: 20% 小テスト: 20% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習: 教材の予習および音読練習(30分/回) 復習: 配布資料の見直しと課題の取り組み(1時間/回)		
キーワード/Keywords	英語4技能の習得 コミュニケーション		
教科書・教材・参考書/Materials	"You're Welcome!" Tae Kudo, Cengage Language, そのほかLACSに配信教材		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	出席状況・積極的な授業参加を重視します。 対面授業がオンラインに変更になる場合があります。LACSの連絡事項でお知らせしますので授業日前に確認下さい。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席回数が3分の2に達しない場合、考査の受験資格が与えられません。 ただし、欠席届(学生便覧参照)やその他やむを得ない理由については、当該欠席時数について考慮することがあります。 対面授業がオンライン授業に変更になることもありますので、対面授業日前にLACSの連絡事項を必ず確認してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	（対面）オリエンテーション	A B
第2回	（対面）Unit 1 会話演習・音読とリスニング	A B
第3回	（対面）Unit 2 会話演習・音読とリスニング	A B
第4回	（対面）Unit 3 会話演習・音読とリスニング	A B
第5回	（対面）Unit 4 会話演習・音読とリスニング	A B
第6回	（対面）Unit 5 会話演習・音読とリスニング	A B
第7回	（対面）e-learning 教材学習テスト 1回目	A B
第8回	（対面）Unit 6 会話演習・音読とリスニング	A B
第9回	（対面）Unit 7 会話演習・音読とリスニング	A B
第10回	（対面）Unit 10 会話演習・音読とリスニング	A B
第11回	（対面）Unit 11 会話演習・音読とリスニング	A B
第12回	（対面）会話演習の総括	A B
第13回	（対面）e-learning 教材学習テスト 2回目	A B
第14回	（対面）プレゼンテーション	A B
第15回	（対面）プレゼンテーション	A B
第16回	（対面）定期試験	A D

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005028	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2L3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部(2L3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々なスタイルの英語に触れながら、インプット(reading, listening)、アウトプット(speaking, writing)を通して、英語の4技能を高める。		
授業到達目標/Course goals	(1) 英語でのコミュニケーションをスムーズに行うことができるようになる。 (2) 音読練習を通して、発音、リスニング力、表現力を高めることができるようになる。 (3) イディオムを使った表現を理解し、コミュニケーション能力を高めることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☒ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-Learning 教材学習テスト(Power Words Hybrid 単語テスト)20%、課題および小テスト20%, Presentation 30%、期末試験30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(1) 指示された教科書のLessonをしっかりと予習して、毎回の小テストに備えること。(1時間/回) (2) Presentationの準備を入念に行うこと。(2時間/回) (3) e-Learning教材学習に着実に取り組むこと。(合計30時間)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Idiomatic American English		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	対面 Course Outline
第 2 回	対面 Lesson 1 Having a Ball
第 3 回	対面 Lesson 2 Footing the Bill
第 4 回	対面 Lesson 12 An Eager Beaver
第 5 回	対面 Presentation No.1 Lesson 13 Bringing Home the Bacon
第 6 回	対面 Lesson 15 A Pep Talk
第 7 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 1 回目 Lesson 18 The Cream of the Crop
第 8 回	対面 Presentation No.2 Lesson 20 In the Swing of Things
第 9 回	対面 Lesson 25 Coming Through Flying Colors
第 1 0 回	対面 Lesson 49 An Old Flame
第 1 1 回	対面 Presentation No.3 Lesson 51 A knockout
第 1 2 回	対面 Lesson 58 Hitting the Bottle
第 1 3 回	対面 e-Learning 教材学習テスト 2 回目 Lesson 59 In the Same Boat
第 1 4 回	対面 Presentation No.4 Lesson 63 The Last Straw
第 1 5 回	対面 Review
第 1 6 回	対面 Final Exam

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005029	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2L4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自分の考えを適切に表現するため、文法に則った文章を作成する訓練をする。ユニットごとのテーマに関連する語句を学んで語彙力を養い、発音の特徴を確認する。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験35%、小テスト(音読・筆記)20%、ペアでの会話発表15%、授業への積極的な参加状況(遅刻・欠席・予習等)10%、e-learning教材学習テスト20% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間/回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。 ・復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Express English Effectively!, Mark Petersen, Tsurumi Shoten, 2024		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。インフルエンザや忌引き等の理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	（対面）授業の進め方とe-learningの説明
2回	（対面）Unit 1(1)
3回	（対面）Unit 1(2)
4回	（対面）Unit 2
5回	（対面）Unit 3
6回	（対面）Unit 4
7回	（対面）e-learning学習教材テスト1回目、インターネット上の英語を読む
8回	（対面）Unit 5
9回	（対面）Unit 6
10回	（対面）Unit 7
11回	（対面）Unit 8
12回	（対面）Unit 9
13回	（対面）e-learning学習教材テスト2回目、インターネット上の英語を聞く
14回	（対面）ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	（対面）リスニング・リーディングのポイント確認
16回	（対面）定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005030	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E4) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、教育、福祉、観光、科学など、あらゆる分野の直面する問題について理解を深め、各問題に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■ 主体性 / Autonomy ■ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(10回×2点=20点)+writing・speaking(15回×1点=15点)+定期試験(45点)+e-learning教材学習テスト(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	future		
教科書・教材・参考書/Materials	The Future We Face (三修社) 1,900円+税		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回到授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/11)	(対面) Introduction
第2回 (4/18)	(対面) Unit 1 Building from Above
第3回 (4/25)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Food Loss
第4回 (5/9)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Identifying False Information
第5回 (5/16)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Water Footprint
第6回 (5/23)	(対面) Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Data in Sports
第7回 (5/30)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Community Kitchens
第8回 (6/6)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Studying Abroad
第9回 (6/13)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Enough Sleep
第10回 (6/20)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Drones to the Rescue
第11回 (6/27)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Country Mouse or City Mouse?
第12回 (7/4)	(対面) Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Digital vs. Paper
第13回 (7/11)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Where Does Nuclear Waste Go?
第14回 (7/18)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Farms without Fields
第15回 (7/25)	(対面) Unit 14 School Starting Age 総復習

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005031	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E5) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki▲sun.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	目的や場面、状況に応じて、言語活動を通して英語を使って上手く機能し、適切に対応しながらやり取りや発表をすることができるようになるために、リスニングやスピーキングの活動を中心に、その場面にふさわしい英語表現を機能やトピックを提示し、実用的な英語の習得を目指します。英語圏と日本における思考様式の違いを通して、それぞれの文化的な背景やマナーについても考え、異文化理解に対する意識の向上と、異質なものを容認する態度の育成に努めます。		
授業到達目標/Course goals	異文化コミュニケーションに不可欠な「目標文化圏における思想や価値観の理解」を意識しつつ、英語圏文化やその中のコミュニケーションの在り方と日本独自の文化との相違を視野におさめ、目的や場面、状況に応じて英語を用いた幅広いコミュニケーション能力を育成します。発音や文法についても、必要と思われる箇所では必ず触れ、「自然な英語」を話す力を身に付けます。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Quiz 20%, Final Exam 30%, Assignments 20%, Class Participation 10%,Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目 10%+2回目 10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読しできるだけ暗記しておいてください。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおいてください。 ・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回) ・Power Words Hybrid自学自習(合計30時間)		
キーワード/Keywords	スピーキング、リスニング、異文化コミュニケーション、異文化理解、発音		
教科書・教材・参考書/Materials	『すぐに使える英会話 対話ミニフレーズ300』山崎祐一 著(Jリサーチ出版) その他、英語コミュニケーション演習のハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面） 外国語学習における異文化理解と発音の大切さ
第2回	（対面） 毎日のあいさつ、初対面のあいさつ、別れのあいさつ コミュニケーションアクティビティ
第3回	（対面） フレンドリーに話しかける コミュニケーションアクティビティ
第4回	（対面） 即座に返答する コミュニケーションアクティビティ
第5回	（対面） 感謝の気持ちを表現する コミュニケーションアクティビティ
第6回	（対面） 中間クイズ（１） 既習のダイアログの確認と発展
第7回	（対面） Power Words Hybrid単語テスト1回目 謝罪の気持ちを表現する コミュニケーションアクティビティ
第8回	（対面） 英語による謙遜のしかた コミュニケーションアクティビティ
第9回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（１）
第10回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（２）
第11回	（対面） 異文化理解と発音・リスニング演習（３）
第12回	（対面） 中間クイズ（２） 既習のダイアログの確認と発展
第13回	（対面） Power Words Hybrid単語テスト2回目 天気の話をする コミュニケーションアクティビティ
第14回	（対面） 電話で話す コミュニケーションアクティビティ
第15回	（対面） 英語コミュニケーションに必要な知識及び技能に関する総括
第16期	（対面） 期末試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005032	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E6) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi▲n-junshin.ac.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	若者にとって興味深い内容の映画を視聴しながら、内容を理解し、リスニング力や語彙力、表現力を強化する。また映画の内容に関連した文化的、或いは社会的なトピックに関して、英語のプレゼンテーションを行う。		
授業到達目標/Course goals	映画の中の生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、内容をおおまかに把握できるようになる。さらに英語で自分の意見やコメントをまとめ、論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☒ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above プレゼンテーション ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容確認小テスト10% プレゼンテーション 10% 定期試験 50% 授業参加度 10 % Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10% + 2回目10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 各ユニットの練習問題を予習し、テキストの指定された範囲に目を通すこと。またプレゼンテーションの準備(1時間/回) 復習: 授業中に取り上げたテキストの箇所や練習問題を再読し、期末試験に備えておく。(30分/回)		
キーワード/Keywords	リスニング、プレゼンテーション、語彙、文化、英詩、映画		
教科書・教材・参考書/Materials	『Dead Poets Society 今を生きる』(音羽書房鶴見書店)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	毎回練習問題や課題の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。
学生へのメッセージ/Message for students	若者にとって興味深く、文化的背景に広がりのある映画を教材として取り上げています。映画を言語的、そして文化的に理解する楽しさが、きっと英語の学習意欲を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方について プレゼンテーションについての説明 映画Dead Poets Society についての説明と鑑賞
第2回	Unit 1: A New Semester 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第3回	Unit 2: Seize the Day 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第4回	Unit 3: An Invitation to Poetry 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第5回	Unit 4: Free Thinkers 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第6回	Unit 5: Dead Poets Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト 1 回目 Unit 6: Your Own Voice 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第8回	Unit 7: Poetry Class 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第9回	Unit 8: Conformity vs. Individuality 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第10回	Unit 9: Time for Action 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第11回	Unit 10: Father and Son 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第12回	Unit 11: A Midsummer Night's Dream 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 12: The End of the Society 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク
第14回	Unit 13: Betrayal 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション

第15回	Unit 14: Oh, Captain! My Captain! 語彙、リスニング、リーディング、文法と表現、場面の背景説明、ペアワーク或いはグループワーク、プレゼンテーション
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005033	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2E7) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E 7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにてアポイントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。授業開始から終了まで英語を使い続け、英語使用、および英語でのコミュニケーションに慣れることを目的とします。		
授業到達目標/Course goals	1・抵抗なく英語でコミュニケーションが図ることができる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させ、英語でのコミュニケーションをより円滑にするためのトレーニングができる。 3・会話表現を学び、実際の会話で使うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☒ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 様々なテーマについて英語で会話をします。瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。 ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・授業への取り組み(20点) ・レポート提出(30点) ・期末試験(30点) ・e-learning教材学習テスト(20点) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・音読の復習練習(合計2時間) ・レポートの為に映画視聴及びレポート作成(合計13時間)		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備します。日常の英会話で使われる表現・文法事項をアウトプットしながら定着させていきます。またレポート作成を通し授業外でも英語環境を積極的に作る習慣づけを行います。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は全て対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会で英語を実際に使えるように、この授業を通し英語を使うトレーニングをします。今まで学んできた語彙力、文法力を存分に活用し、クラスメイトとのコミュニケーションを試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰 英語を外国語として学ぶ学習者に効果的な英語使用のトレーニングを通し、英語習得に向けた学習を促す。 会話で使用されると予測されるトピック、イディオム等を各授業で準備する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第2回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習) 各種英語テストに関する説明
第3回	Listening activity(音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第4回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第5回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第6回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第7回	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking activity (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第8回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第9回	Listening practice (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第10回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第11回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第12回	Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第13回	Power Words Hybrid 単語テスト2回目 Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第14回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)
第15回	Listening activity Listening activity (音読 and pronunciation practice) Speaking practice (文法・会話表現・TOEICイディオムの練習)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005034	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2P1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月、火、木 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬剤師として役立つ日常的な健康や医療に関する英会話を通じて、コミュニケーションに必要な英語力を身につけていきます。平易な英語で情報を聞きとったり、伝えたりする練習をしていきます。また、生きた英語に触れることを通じて、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。		
授業到達目標/Course goals	健康や医療に関する基礎的な英会話の語彙・表現を習得できる 日常生活の中で遭遇するような場面で、臆せずに平易な英語で情報を尋ねたり、伝えたりできるようになる 英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	□汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Power Words Hybrid 単語テスト 20% (1回目10% + 2回目10%) 授業の取り組み : 20% 小テスト、会話テスト : 30% 期末テスト : 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Power Words Hybrid 自学自習（30時間） 予習：配布教材の予習および音読練習（30分/回） 復習：配布教材（演習）の見直しと小テストに向けての学習（1時間/回）	
キーワード/Keywords	英語4技能の習得 コミュニケーション	
教科書・教材・参考書/Materials	授業の中で演習用のプリントを配布します。予習・復習にしっかり取り組み、授業でアウトプットできるようにして下さい。毎回ペアワークをするので配布資料や課題のプリントを必ず持参して下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	出席状況、積極的な授業への参加を重視します。 授業のトピックスは進捗状況によって変更します。 対面授業がオンラインに変更になる場合は、LACSの連絡事項でお知らせします。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業出席回数が3分の2に達しない場合、考査の受験資格が与えられません。 ただし、欠席届(学生便覧参照)やその他やむを得ない理由については、当該欠席時数について考慮することがあります。 皆さんの学習意欲と授業への積極的な参加を期待しています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	（対面）オリエンテーション 会話演習：Self Introduction	A C
第2回	（対面）会話演習：Asking Basic Questions	A C
第3回	（対面）会話演習：Taking Medical History	A C
第4回	（対面）会話演習：Names of Departments	A C
第5回	（対面）会話演習：Giving Directions in Hospital	A C
第6回	（対面）会話演習：Parts of the Body	A C
第7回	（対面）Power Words Hybrid 単語テスト 1回目 会話演習：Symptoms	A C
第8回	（対面）会話演習：Symptoms	A C
第9回	（対面）会話演習：Symptoms	A C
第10回	（対面）会話演習：Medicine	A C
第11回	（対面）会話演習：Medicine	A C
第12回	（対面）会話演習：Patient Accounts	A C
第13回	（対面）Power Words Hybrid 単語テスト 2回目	A C
第14回	（対面）会話演習：総括 Role Play	A C

第15回	(対面) 会話演習 : 総括 Role Play	A C
第16回	(対面) 定期試験	A

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005035	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2P2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_dai ▲ campus.nias.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。) 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 時間帯は講義にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。頭で英文を思い描くために、核となるイメージを養っていきます。また、Group Workを通して、コミュニケーションも豊かにとれるよう積極性を持てるようにします。		
授業到達目標/Course goals	・1年次に学ぶ英語コミュニケーションのセンテンスパターンを応用できるようになる。 ・将来的に自らが遭遇する日常レベル、またアカデミックレベルの英会話に必要なスキルを自己判断できるようになる。 ・PDCA (Plan/Do/Check/Act) のサイクルを繰り返し行い、問題発見と解決ができるようになる。 ・効果的な傾聴力と主張力を身につけることができる。 ・プレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Positive Class Participation 15% (講義中の睡眠、携帯操作等マイナス態度) Power Words Hybrid 単語テスト20% (1回目10%、2回目10%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Mid-Term Examination 25% Final Examination 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 学期期間中は、事前学習と事後学習を毎週最低でも学内で2時間、自宅で2時間行うこと。 事前学習においては、講義を効率よく受けられるために理解している部分と、そうでない部分を「仕分け」すること。また、覚えていない（知らない）単語や句は調べておくこと。独自で選択したテーマにそった調べ学習を行い、そのテーマについての語彙を広げ、知識を増やしておくこと。 事後学習においては、講義で新しく学んだキーワードや語句をピックアップし、習得したといえるレベルになるまで学習を行うこと。毎回講義で学んだ項目と照らし合わせて、選択したテーマの知識をベースに、自分の意見を英語でアウトプットできるようにしておくこと。
キーワード/Keywords	・脱受験英語 イメージからの英語表現へ ・効果的なプレゼン
教科書・教材・参考書/Materials	Let's Make a Skit Presentation（英宝社） 各自持っている参考書、辞書（英和、和英） この授業では、辞書はかなり重要です。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為は大人としてのモラルをもって自重してください。（スマートフォンの操作等） 無断遅刻・欠席回数1/3以上はClass Attendance and Participationを0%と致します。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本対面形式で進めていきます。最初の回に授業計画を詳しく説明しますが、状況によっては対面式とオンライン形式（オンデマンド）のハイブリッド型、またはオンライン形式（オンデマンド）に変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	中間、期末テストはGroup Workになり、Group内でのコミュニケーションも非常に重要になります。無断欠席、遅刻などは他の受講者にも非常に迷惑をかけることになるので、必ず責任ある態度で講義に望んでください。特に再履修の学生は、この点をよく考えてから決断してください。 社会の状況により、授業形態を遠隔授業に変更する場合は、LACSで周知いたします。遠隔講義に変更になった場合、中間、期末テストは課題形式に変更します。 e-learning教材学習テスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4/11	Introduction 英語とコミュニケーションスキル 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 4/18	Unit 1 言語機能別英会話(1) Group Making PDCAの解説
第3回 4/25	Unit 2,3 言語機能別英会話(2),主語として便利なwe,you,they Mid-Term Examinationへ向けてTopicを決定
第4回 5/9	Unit4,5 疑問文のパターン(1),(2)
第5回 5/16	Unit 6,7 助動詞を使った文(1),(2)
第6回 5/23	Unit1~ 6 効果的な表現；日本語と英語の比較 調査した表現・これまでの授業で学んだ文法の確認 伝えたいことが伝えられているのだろうか？
第7回 5/30	Power Words Hybrid 単語テスト1回目 PDCA再考 Preparation for the Mid-Term: 最終確認（ループリックを参考にして）
第8回 6/6	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析

第9回 6/13	Mid-Term Examination; Skit Presentation (Group work) Mid-Term Examinationの反省点と修正点の分析
第10回 6/20	Unit 8,9 名詞節を使った文(1),(2) Group Making Topicの決定、Mid-Term Examinationの振り返りと修正点の共有 Final Examinationに向けてGroupとしての取り決め（反省点をいかして）
第11回 6/27	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第12回 7/4	Unit 10,11,12 完了形の文、進行形、受動態の文、比較や程度を表す文
第13回 7/11	Power Words Hybrid 単語テスト 2回目 Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう！
第14回 7/18	Unit 13,14,15 意識して動詞のパターンを話そう！ Final Examの準備（Mid-Term Examを省みて修正した事項、ループリックを参考にして最終確認）
第15回 7/25	Final Examination, Group Presentation
第16回 8/1	Final Examination, Group Presentation

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005036	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2F1) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyamada2024nagasaki▲gmail.com(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	スピーキングを中心におきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。e-learningの自主学習による学習に加えて、テキストの学習や追加課題で、まずしっかりとした量の英語のインプットによる英語力の基礎固めをし、その上で音読練習をしっかりとし、英語で話すための基本を身につける。ほぼ毎回の授業において協働活動で簡単なプレゼンテーションをし、またグループ・プレゼンテーションを最終授業することで、基本的な英語表現力を身につける。英英辞典を使った単語クイズも行う。対面授業/オンライン授業の切り替えによって内容の一部が変更になることがあります。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な内容についての自分の意見を、英語で相手に伝えることができるようになる。 2. 短い英語ニュース程度の内容の要点をつかむことができる。 3. 日常的な場面における英語をある程度聞いて理解することができる。 4. 英語による基本的な情報交換ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(20%) 小テスト((2種類)(15%+15%=30%)) 学習参加度・学習報告書(20%) グループ・プレゼンテーション(10%) e-learning教材学習テスト(20%(1回目10%+2回目10%)) オンライン授業となった場合は、評価配分を変更する可能性があります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 予習：ユニットのWarm-upからSection2 Listening Checkerまでをしてくることを課題とする（30分～1時間/回）。 復習：授業後に自分の学習ノートに各回の授業から役に立つと考える表現と難しいと思う表現を書き、さらにテキストのReading Aloudの部分の自主練習をする。また、追加課題のBBCニュース視聴に取り組む。それらをふくめた学習内容を学習報告書として、ワード形式の様式に記入をして提出をする（30分～1時間/回）。 課題提出はLACSの課題に提出をしてください。提出するファイルのファイル名に必ず自分の名前をいれてください。 テキスト内容の理解については、授業中のReview Quizや中間テスト、定期試験で確認する。
キーワード/Keywords	Repetition is the mother of learning.
教科書・教材・参考書/Materials	Misato Usukura /Yuichi Suzuki / Christopher Belton 『Speaking Steps』 Kinseido, 2022
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作（辞書で調べる等は除く）等不真面目な態度は減点評価する。対面式授業で欠席した授業については、学習内容報告の評価は原則対象外とする。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	（対面）オリエンテーション（授業の構成と課題の評価について。英英辞典の利用や、音読練習のコツなど、英語学習全般について）
第2回	（対面）Unit 1: What is Important to You?
第3回	（対面）Unit 2: My Morning Routine
第4回	（対面）Unit 3: Your Recommended Restaurant
第5回	（対面）Unit 4: The Best Film Ever
第6回	（対面）Unit 5: What is a True Friend?
第7回	（対面）e-learning教材学習テスト 1回目 Unit 6: The Best Pizza in Town
第8回	（対面）Unit 7: An Ideal Private Tour Plan 表現小テスト1回目（ペーパーテスト）
第9回	（対面）Unit 8: Useful Apps for Your Smartphone
第10回	（対面）Unit 9: A Proposal for New Flavors
第11回	（対面）Unit 10: A Great Figure in the Business World
第12回	（対面）Unit 11: Cheese for Uncle David
第13回	（対面）e-learning教材学習テスト 2回目 Unit 12: The Babysitter #1
第14回	（対面）表現小テスト2回目（ペーパーテスト） Unit 13: The Babysitter #2
第15回	（対面）グループ・プレゼンテーション
第16回	（対面）定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005037	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2F2) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2 F 2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu▲yahoo.co.jp(メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(1) 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。 (2) 話すことと聴くことの技能を身に着ける。 (3) ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。 (4) 語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。 (5) 対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。 (6) 自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。 (7) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (8) 練習問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (9) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。 (10) 海外の大学生活における英語表現を通して、ダイアログの背景や、スコットランドとアメリカ合衆国の文化に対する理解を深めることができる。 (11) 各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業到達目標/Course goals	(1) 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができるようになる。 (2) 語彙力を増強することができるようになる。 (3) 英語の構文・文法・表現について理解を深めることができるようになる。 (4) 美しい発音ができ、リスニングの能力を養うことができるようになる。 (5) 表現を声に出して述べるができるようになる。 (6) 基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。 (7) 適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。 (8) 英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養うことができるようになる。 (9) 日常会話を通して、ダイアログの背景や、英語圏の文化に対する理解を深めることができるようになる。 (10) 各自の現在の能力をさらに向上させることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験（50%）＋ Power Words Hybrid 単語テスト（20% 10% ＋ 10%）＋ 小テスト（15%）＋ 積極的な授業への取り組み（15%）
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	授業時間（15時間）、事前学修時間（15時間）、事後時間（15時間）の、合計45時間の学修を必要とします。 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、自宅で音声教材を聴きDVDを見て、テキストの問題を解いて授業に臨むこと。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テストで確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・予習： 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習。（2時間／回） ・復習： 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。（2時間／回） Power Words Hybrid 単語テストの自学自習を計画的に進めること。（合計30時間）
キーワード/Keywords	大学生活における様々な状況の中での英会話のダイアログ / 有用な英語表現とその応用 / 多彩なトピックス / 豊富な練習問題 / リーディング教材 / 海外の文化
教科書・教材・参考書/Materials	『 Talking About Our Campus 』（小笠原真司・奥田阿子・William Collins・廣江顕 他：英宝社） DVD が付属しています。 音声教材は、http://www.eihosha.co.jp/ の「テキスト音声」から、ダウンロードしておきましょう。（無料です。） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には全回出席しましょう。授業では、英語表現を覚えながら話す練習を、時間のある限り力を入れて行います。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして視聴覚教材を臨んでください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	基本的に対面で授業を行います。オンライン授業の際には伝えます。 授業中は、とにかく発声練習を徹底しますので、映像を初めて見る時間などありません。必ず事前の自宅学習で、テキストの問題を解き、DVDを見て、ダウンロードした音声教材を何度も聴いておきましょう。 クラスに出て初めてテキストや音声に触れるようなことがないようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	必ず予習をして授業に臨んでください。必ず予め英単語の意味を調べ、問題を解いておきましょう。毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明（対面）

第2回	4月19日	Unit 1. Self-introduction (1) The University of Edinburgh
第3回	4月26日	Unit 2. Self-introduction (2)
第4回	5月10日	Unit 3. Self-introduction (3)
第5回	5月17日	Unit 4. Self-introduction (4)
第6回	5月24日	Unit 5. Introduction of the former students
第7回	5月31日	第1回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 6. Interview (1) California State University Monterey Bay
第8回	6月7日	Unit 7. Interview (2)
第9回	6月14日	Unit 8. Interview (3)
第10回	6月21日	Unit 8. Interview (4)
第11回	6月28日	Unit 9. Interview (4)
第12回	7月5日	Unit 10. Campus Tour (1) California State University Monterey Bay
第13回	7月12日	第2回 Power Words Hybrid 単語テスト
		Unit 11. Campus Tour (2)
第14回	7月19日	Unit 12. & 13. Campus Tour (1) (2) City University of New York
第15回	7月26日	Unit 14. & 15. Campus Tour (3) (4)
第16回	8月2日	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005038	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (2F3) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo▲hotmail.co.jp(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、スポーツ、伝統・文化、ICTなど、あらゆる分野の直面する問題について理解を深め、各問題に対する自身の考えをグループディスカッション等でアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト(10回×2点=20点)+writing・speaking(15回×1点=15点)+定期試験(45点)+e-learning教材学習テスト(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	・e-learning 自学自習(合計30時間) ・予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習(1時間/回) ・復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords	opinions		
教科書・教材・参考書/Materials	English in Tune (センゲージラーニング株式会社) 2,365円		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/12)	(対面) Introduction
第2回 (4/19)	(対面) Unit 1 Dreams and Aspirations
第3回 (4/26)	(対面) Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Sports and Leisure
第4回 (5/10)	(対面) Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Routines and Habits
第5回 (5/17)	(対面) Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Social Behavior
第6回 (5/24)	(対面) Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 University Life
第7回 (5/31)	(対面) e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Culture and Traditions
第8回 (6/7)	(対面) Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Four Seasons
第9回 (6/14)	(対面) Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Shopping Preferences
第10回 (6/21)	(対面) Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 Safety and Security
第11回 (6/28)	(対面) Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 Smart Technology
第12回 (7/5)	(対面) Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Celebrations and Festivals
第13回 (7/12)	(対面) e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12 Taking Care of Our Environment
第14回 (7/19)	(対面) Unit 12 内容理解確認小テスト Unit 13 Important People — Past and Present
第15回 (7/26)	(対面) Unit 14 Food and Health 総復習

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005039	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (G(英1)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Kyaw May / May Kyaw		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	Kyaw May / May Kyaw		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	Kyaw May / May Kyaw		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	maykyaw▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	maykyaw▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday and Tuesday (1st and 2nd periods)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students who participate in this course wil learn how to: 1. create, prepare for, and deliver academic presentations both indidually and with partners 2. participate in small group discussions centered around specific topics 3. take notes on academic lecturues and use them to assist in comprehension 4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in academic listening texts 5. create and distribute a survey using Google Forms 6. identify useful external sources of listening practice and present them to a small group 7. use Flipgrid to post short videos and respond to classmates' videos		
授業到達目標/Course goals	Course Goals This course is designed to introduce students to: 1. varieties of spoken English encountered in academic contexts (DP1: In a globalised world, having a broad knowledge base in the humanities and social sciences enables one to understand the significance of societal, cultural, and linguistic diversity from various perspectives.) 2. communicative tasks encountered in academic contexts (DP2: Possessing advanced proficiency in English and other key foreign languages, one can effectively communicate and present ideas in the multicultural context of a globalised world.) 3. strategies used when speaking English and listening to English (DP2: Possessing advanced proficiency in English and other key foreign languages, one can effectively communicate and present ideas in the multicultural context of a globalised world.)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Participation 20% Presentations 30% Quizzes 20% Extensive Listening Logs 15% Flipgrid 15%
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons (2h)
キーワード/Keywords	Listening, speaking, critical thinking, TEDTalks
教科書・教材・参考書/Materials	21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking - TED Talks Level 4 by Christien Lee
受講要件（履修条件）/Prerequisites	このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
2-Oct	Unit 2 - Say It Your Way - Discussion and Vocabulary
4-Oct	Unit 2 - Podcast - Main Ideas & Details
9-Oct	Unit 2 - Speaking & Listening Strategies
11 Oct.	Unit 2 - Video - Main Ideas & Details
16 Oct.	Unit 2 - Think Critically - Infographic; Quiz 1
18 Oct.	Unit 2 - Workshop for Presentation 1
23 Oct.	Unit 2 - Practice Presentation 1
25 Oct.	Unit 2 - Presentation 1
30 Oct.	Unit 4 - Beyond Limits - Discussion and Vocabulary
1-Nov	Unit 4 - Podcast - Main Ideas & Details; Speaking & Listening Strategies
6 Nov.	Unit 4 - Video - Main Ideas & Details
8 Nov.	Unit 4 - Think Critically - Infographic; Quiz 2
13 Nov.	Unit 4 - Practice Presentation 2
15 Nov.	Unit 4 - Presentation 2
22 Nov.	Unit 5 - Stress: Friend or Foe? - Discussion and Vocabulary
27 Nov.	Unit 5 - Podcast - Main Ideas & Details
29 Nov.	Unit 5 - Speaking & Listening Strategies
4 Dec.	Unit 5 - Video - Main Ideas & Details
6 Dec.	Unit 5 - Think Critically - Infographic; Quiz 3
11 Dec.	Unit 5 - Group work for Presentation 3
13 Dec.	Unit 5 - Practice Presentation 3
18 Dec.	Unit 5 - Presentation 3
20 Dec.	Unit 8 - DIY: Do It Yourself - Discussion and Vocabulary
8-Jan	Unit 8 - Podcast - Main Ideas & Details
10 Jan.	Unit 8 - Speaking & Listening Strategies

15 Jan.	Unit 8 - Video - Main Ideas & Details
22 Jan.	Unit 8 - Think Critically - Infographic; Quiz 4
24 Jan.	Unit 8 - Workshop for Practice Presentation 4
29 Jan.	Unit 8 - Practice Presentation 4
31 Jan.	Unit 8 - Presentation 4

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005040	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (G(英2)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Cutrone Pino / Pino Cutrone		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	Cutrone Pino / Pino Cutrone		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	Cutrone Pino / Pino Cutrone		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-pino▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	[多文化] 総合教育研究棟 5F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2927		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Office Hour(s): Tuesday, Period 3. Instructor is also available before and after class and		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students who participate in this course will: 1. create, prepare for, and deliver presentations both individually and in groups, 2. participate in small group discussions centered around specific topics, 3. develop critical thinking and problem solving skills (to assist in achieving a task objective), 4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in practical and academic listening texts, 5. learn to use a variety of communication strategies (and discourse markers) in interactional contexts, 6. identify useful external sources of listening practice (including note-taking skills), 7. use specific strategies (and target language) to complete communication tasks, 8. increase their receptive and productive vocabulary in practical and academic contexts, 9. increase their awareness concerning some of the issues involved in cross-cultural encounters, and 10. develop tools to be able to talk about and share aspects of their own culture with people interested in Japan.		
授業到達目標/Course goals	Course Goals This course is designed to introduce students to: 1. varieties of spoken English encountered in academic contexts, 2. communicative tasks in everyday situations as well as academic contexts, and 3. strategies used when speaking English and listening to English.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ■ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■ C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		

成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Participation 20% Presentations 30% Vocab Quizzes = 20 % Extensive Listening Logs 15% Final Exam 15 % *Please note that more than 7 unexcused absences might result in course failure.
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons (Approximately 1 hour for preview and 1 hour of review required).
キーワード/Keywords	Speaking, Listening, Critical Thinking, Task-Based Language Teaching
教科書・教材・参考書/Materials	Welcome to Kyushu, Japan Written by Pino Cutrone and Siewkee Beh, and published by Shohakusha, 2014.
受講要件（履修条件）/Prerequisites	このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	Students are encouraged to make a concerted effort to participate in class activities and to complete homework assignments. Also, consistent attendance is mandatory to be able to pass this class. Please don't hesitate to contact me if you ever have any questions and/or if you need any help with anything. Good luck!
学生へのメッセージ/Message for students	Learning a language can be one of the most exhilarating experiences a person can have. I very much look forward to embarking on this wonderful journey with you!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
Oct. 2	Introduction and Orientation
Oct. 4	Unit 1 Let's Get Started (Self-Introduction Speeches/Presentation)
Oct. 9	Unit 2 - Travel Advice, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Oct. 11	Unit 2 - Travel Advice, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task,
Oct. 16	Unit 3 - Room and Board, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Oct. 18	Unit 3 - Room and Board, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Oct. 23	Unit 4 - Finding Your Way Around, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Oct. 25	Unit 4 - Finding Your Way Around, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Oct. 30	Unit 5 - Experience the Sights, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Nov. 1	Unit 5 - Experience the Sights, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Nov. 6	Unit 6 - Popular Destinations in Kyushu, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Nov. 8	Unit 6 - Popular Destinations in Kyushu, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Nov. 13	Unit 7 - Mid-Term Presentation Project Preparation Session
Nov. 15	Unit 7 - Mid-Term Presentation Performance
Nov. 22	Unit 8 - Arranging a Day Out, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Nov. 27	Unit 8 - Arranging a Day Out, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Nov. 29	Unit 9 - Trying New Foods, Pre-Task, Core-Task, and First Listening

Dec. 4	Unit 9 - Trying New Foods, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Dec. 6	Unit 10 - Choosing the Right Hotel, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Dec. 11	Unit 10 - Choosing the Right Hotel, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Dec. 13	Unit 11 - Festival Fun, Pre-Task, Core-Task, and First Listening, Vocab Quiz
Dec. 18	Unit 11 - Festival Fun, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Dec. 20	Unit 12 - Leisure Activities, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Jan. 8	Unit 12 - Leisure Activities, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Jan. 10	Unit 13 - Buying Souvenirs, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Jan. 15	Unit 13 - Buying Souvenirs, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Jan. 22	Unit 14 - Learning a New Language, Pre-Task, Core-Task, and First Listening
Jan. 29	Unit 14 - Learning a New Language, Second Listening, Language Analysis Activities, and Post-Task, Vocab Quiz
Jan. 31	Unit 15 - Assessing our English and Saying Good Bye, Self-Assessment, Goals and Improvements, Listening
Aug. 5	Unit 15 - Assessing our English and Saying Good Bye, Farewell Speeches
Aug. 7	Final Exam / Task Assessment

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20240590005041	科目番号 / Course code	05900050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11363_032		
授業科目名 / Course title	●英語コミュニケーション (G(英3)) / English Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	Shiraishi Rosalind / Shiraishi Rosalind Patricia		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	Shiraishi Rosalind / Shiraishi Rosalind Patricia		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	Shiraishi Rosalind / Shiraishi Rosalind Patricia		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, A科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	dcupchak▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	dcupchak▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	2nd period Mondays & Tuesdays		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Students who participate in this course will learn how to: 1. create, prepare for, and deliver academic presentations both individually and with partners 2. participate in small group discussions centered around specific topics 3. take notes on academic lectures and use them to assist in comprehension 4. comprehend main ideas, details, and inferred meanings in academic listening texts 5. create and distribute a survey using Google Forms 6. identify useful external sources of listening practice and present them to a small group 7. use Flipgrid to post short videos and respond to classmates' videos		
授業到達目標/Course goals	Course Goals This course is designed to introduce students to: 1. varieties of spoken English encountered in academic contexts 2. communicative tasks encountered in academic contexts 3. strategies used when speaking English and listening to English ?DP1 In a globalizing world, having a broad knowledge base in the humanities and social sciences enables one to understand the significance of societal, cultural, and linguistic diversity from various perspectives. ?DP2 Possessing advanced proficiency in English and other key foreign languages, one can effectively communicate and present ideas in the multicultural context of a globalized world. ?DP3 Capable of collecting and analyzing appropriate data and historical sources, identifying and organizing issues, as well as planning and executing investigations regarding various challenges and phenomena present in multicultural societies. ?DP4 Building inclusive relationships with diverse individuals and demonstrating		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ☐ 協働性 / Cooperativeness ■考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Participation 20% Presentations 30% Quizzes 20% Extensive Listening Logs 15% Flipgrid 15%
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	Students must review the listenings and vocabulary to better enhance their understanding of the lessons (2h)
キーワード/Keywords	Listening, speaking, critical thinking, TEDTalks
教科書・教材・参考書/Materials	21st Century Communication: Listening, Speaking, and Critical Thinking - TED Talks Level 3 by Lynn Bonesteel
受講要件（履修条件）/Prerequisites	このコースは、KEYプログラムのListening & Speaking IIとして開講されています。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948
備考/Remarks	Students are encouraged to make a concerted effort to participate in class activities and to complete homework assignments. Also, consistent attendance is mandatory to be able to pass this class. Please don't hesitate to contact me if you ever have any questions and/or if you need any help with anything. Good luck!
学生へのメッセージ/Message for students	Learning a language can be one of the most exhilarating experiences a person can have. I very much look forward to embarking on this wonderful journey with you!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
2 Oct.	Unit 2 - Say It Your Way - Discussion and Vocabulary
4 Oct.	Unit 2 - Podcast - Main Ideas & Details
9 Oct.	Unit 2 - Speaking & Listening Strategies
11 Oct.	Unit 2 - Video - Main Ideas & Details
16 Oct.	Unit 2 - Think Critically - Infographic; Quiz 1
18 Oct.	Unit 2 - Workshop for Presentation 1
23 Oct.	Unit 2 - Practice Presentation 1
25 Oct.	Unit 2 - Presentation 1
30 Oct.	Unit 4 - Beyond Limits - Discussion and Vocabulary
1 Nov.	Unit 4 - Podcast - Main Ideas & Details; Speaking & Listening Strategies
6 Nov.	Unit 4 - Video - Main Ideas & Details
8 Nov.	Unit 4 - Think Critically - Infographic; Quiz 2
13 Nov.	Unit 4 - Practice Presentation 2
15 Nov.	Unit 4 - Presentation 2

22 Nov.	Unit 5 - Stress: Friend or Foe? - Discussion and Vocabulary
27 Nov.	Unit 5 - Podcast - Main Ideas & Details
29 Nov.	Unit 5 - Speaking & Listening Strategies
4 Dec.	Unit 5 - Video - Main Ideas & Details
6 Dec.	Unit 5 - Think Critically - Infographic; Quiz 3
11 Dec.	Unit 5 - Group work for Presentation 3
13 Dec.	Unit 5 - Practice Presentation 3
18 Dec.	Unit 5 - Presentation 3
20 Dec.	Unit 8 - DIY: Do It Yourself - Discussion and Vocabulary
8 Jan.	Unit 8 - Podcast - Main Ideas & Details
10 Jan.	Unit 8 - Speaking & Listening Strategies
15 Jan.	Unit 8 - Video - Main Ideas & Details
22 Jan.	Unit 8 - Think Critically - Infographic; Quiz 4
24 Jan.	Unit 8 - Workshop for Practice Presentation 4
29 Jan.	Unit 8 - Practice Presentation 4
31 Jan.	Unit 8 - Presentation 4